

第5回山口市議会議会改革検討協議会 会議報告書

開催日時	令和元年12月19日(木) 13:00~15:12			
開催場所	第1委員会室			
出席者	○会長 重見秀和(県都創生山口) ○副会長 富田正朗(自由民主党山口) ○委員 藏成幹也、湊和久(自由民主党山口)、瀧川勉、山本貴広(県都創生山口)、 其原義信(公明党)、氏永東光(高志会)、尾上頼子(日本共産党)、 山見敏雄(市民クラブ)、中野光昭(チームみらい共創) ○委員外議員 竹中一郎(山口維新の会)、植野伸一(継続力の会)			
記録者	書記 横沼	欠席者	なし	傍聴 (一般) 1名 (報道) 2名

以下のとおり概要を報告します。

1 第4回協議会報告書について

副会長から前回の協議内容を説明。出席員で確認し、意見及び修正等なし。

2 協議事項

(1) 答申内容について

- 諮問事項16 山口市議会会議規則第2条第1項(欠席届)の改正について
- 諮問事項27 議会図書室(新本庁舎整備に向けた図書室のあり方)について
- 諮問事項28 議会図書室の充実(資料等の充実)
 - ・ 答申(案)を確認。修正等なし。

→次回答申

(2) 議員定数、会派、常任委員会について

○会派制について

- ・ 議会活動の充実や議員の資質向上のほか、議員の意見集約や議員への周知など能率的な議会運営が可能となるといったメリットや議員一人ひとりの顔が見えにくくなるというデメリットがあるといった説明がされた。
- ・ 議員の発言力・政策立案能力向上のため会派の運営の仕方に工夫が必要といった意見が出された。

→会派制をとることについて、異議なし。

→会派制をとることについて、会派に持ち帰り、次回、最終確認。

○常任委員会の一般質問の実施について

- ・ 常任委員会での一般質問の実施については、「山口市議会の特徴であり、活発な議論は良いことなので残すべき」、「議案の質疑を充実させるべき」、「本会議での一般質問に

- も制限があるなか議案に関する議論を深めていくために必要」といった意見が出された。
- 常任委員会の一般質問は実施する方向で協議を進めることに異議なし。
- 常任委員会の一般質問の実施について、会派に持ち帰り、次回、最終確認。**

○委員会数について

- ・常任委員会の数については、「ある程度、専門性を保つためにも委員会数は減らすべきではない」、「常任委員会の所管部局構成や運営のあり方を検討していく中で引き続き協議すべき」といった意見が出された。
- 常任委員会の委員会数は4つの方向で協議を進めることに異議なし。
- 常任委員会の委員会数を4とすることについて、会派に持ち帰り、次回、最終確認。**

○議員定数について

- ・一委員会の構成人数については、「少人数だと意見が偏るが、現在、概ね各会派の委員で構成されているため丁度よい」、「充実した議論を行うためには、7～8人は必要」、「市域の面積を反映すべきではないか」といった意見が出された。
- ・人口比例方式から見た場合、「市民感覚からすると身を削ることも必要」、「定数を減らして市民の声を議会に届けられなくなってはいけない」、「減らすふやすではなく、現状を分析して議論していくことが必要」といった意見が出された。
- ・コミュニティ代表方式から見た場合、「地域代表としての議員という考えは地域差がある」、「旧町の議員と旧山口市の議員とでは認識が異なる」、「議員がいない地域が疲弊するわけではない」、「地域によって投票率に差があるし面積が大きいことも念頭に入れなければならない」といった意見が出された。
- ・法定得票数については、「将来的にはあるかもしれないが複雑なので市民理解が得られるか」、「投票率、議員の資質向上のねらいもある」といった意見が出された。

→**継続協議**

○市民意見の聴取方法について

- ・シンポジウムを開催する手法は、「本当に市民の意見を聞くことになるのか」、「市民の意見を聴いたという言い訳にしてはいけない」、「アンケートの実施は良いが開催するなら土日の日中など参加しやすい日程にすべき」、「各地域の代表者にも参加してもらいたい」といった意見が出された。

→**継続協議**

3 まとめ及び次回協議に向けた確認事項等

【次回協議事項】

(1) 議員定数、会派、常任委員会について

- ・会派制をとること、常任委員会数を4とすること、常任委員会での一般質問の実施について確認
- ・市民意見の聴取方法の確認

次回開催日時：令和元年12月23日（月）午前10時からの本会議終了後